



新入社員意識調査報告書

平成16年度版

本調査は、

平成16年4月、地場企業に新入社員として入社された

219名の回答をまとめたものです。

〈 内 容 〉

調査概要

各項目の見出しと最近の推移

全体結果から見たポイント

平成16年5月作成

熊本商工会議所



調査概要

【平成16年度 新入社員意識調査 調査概要】

調査実施主体	熊本商工会議所
調査目的	本調査は、企業繁栄の原動力となる新入社員の就職決定までのプロセスや新社会人としての意識等を調査し、今後の事業展開の参考資料とすることを目的とする
調査期間	平成16年4月5日(月)～同年4月9日(金)
調査対象	当所が主催した平成16年度新入社員合同入社式・研修会の参加者及び熊本市内企業の新入社員(計52社252人に調査票を配布)
有効回答数	219人(有効回答率86.9%)

対象者内訳

	男性	女性	計
中学卒	0	0	0
高校卒	10	42	52
短大卒	5	9	14
専門学校卒	12	14	26
大学卒	64	63	127
計	91	128	219

各項目の見出しと最近の推移

【各項目の見出しと最近の推移】

& 最終学歴と性別

Q 1 就職に関する情報は主にどこから得たか

トップは「学校」72.6%、次いで「インターネット」44.7%

～大学卒は「インターネット」70.1%でトップ～

全体的にここ数年、大きな変化は見られない。「インターネット」は13年(37.2%)から連続して増加傾向を示していたが、今回調査では44.7%で前年比2.1ポイント減のとなった。社会全般のインターネットの普及と比例して増加していたが、今回調査では、ほぼ横ばい状況となった。

Q 2 就職先を決定する際に重視したことは何か

上位ランクの「勤務地」「職種」「業種」はポイント増

～前年3位の「安定性」は前年比9.3ポイント減となり、今年は4位～

13年調査から「勤務地」「職種」の順は、変化が見られない。特に前回調査で「安定性」は39.4%となり、14年調査より7.0ポイント増加したが、今回調査ではポイントが減少となり、13年以降ではもっとも少なくなった。

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
勤務地	49.5%	50.2%	51.6%	55.3%
職種	44.5%	50.0%	46.5%	50.2%
業種	34.7%	36.1%	38.8%	40.6%
会社の安定性	32.8%	32.4%	39.4%	30.1%

Q 3 入社する会社に不安があるとすればどんなことか

トップは「仕事適応」70.3%で7.8ポイント増

次いで「人間関係」62.6%で10.4ポイント増

～「賃金」はポイント増となったが、「休暇」「将来性」はともにポイント減～

「仕事適応」は年々増加の傾向にある。「人間関係」「休日」は前回調査まで、ともに横ばい傾向であったが、今回調査で「人間関係」はポイント増、また「休日」はポイント減となった。

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
仕事適応	48.9%	55.6%	62.5%	70.3%
人間関係	53.0%	50.5%	52.2%	62.6%
休日	26.5%	16.1%	16.3%	11.0%

Q 4 就職するにあたり自分がもっと身につけなければならないものは何か

トップは「責任感」60.3%

次いで「積極性」58.9%、「知識・教養」53.0%

上位3項目のなかで、「責任感」と「知識・教養」が、ともに増加傾向にある。

Q 5 会社に希望することはどんなことか

トップは「十分な指導・教育」61.2%で前年比7.4ポイント増

～2位は「自分の能力を活かして欲しい」22.8%で前年比3.2ポイント増～

トップの「十分な指導・教育」は、特に年々増加の傾向にあり、受け入れ側の企業にとって今後の課題と思われる。

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
十分な指導・教育	41.0%	45.6%	53.8%	61.2%

Q 6 あなたは仕事に対して姿勢はどうか

「同僚より多くの仕事をしたい」が過半数の51.6%

Q 7 会社における自分の将来についてどう考えるか

「専門的な知識で認められたい」53.0%で前年比9.1ポイント増

～「経営に参加したい」10.5%は前年比8.4ポイント減～

Q 8 仕事とプライベートではどちらを重視するか

「どちらともいえない」が58.0%でトップ

～「仕事」26.9%で前年比2.2ポイント増～

大きな傾向の変化は見られない。

Q 9 社会人になって期待していることは何か

「収入」「人間関係」「知識・教養」の順位で、ともにポイント増

～3位の「知識・教養」52.1%は前年比12.4ポイント増～

全体的としては、大きな変化は見られないが、今回調査では「知識・教養」が大きくポイント増となった。一方「社会的地位」「学んだ知識が生かせる」は、ともに減少傾向がみられる。

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
知識・教養	39.4%	42.9%	39.7%	52.1%
社会的地位	22.4%	22.9%	21.2%	18.3%
学んだ知識が生かせる	19.2%	18.3%	16.0%	15.5%

Q 10 あなたにとってやる気をおこさせるものは何か

「雰囲気」74.4%「やりがい」67.1%が上位で、ともに前年比ポイント増

～「賃金」26.5%「福利厚生」10.5%は、ともにポイント減～

「雰囲気」は増減しながらも、傾向として増加基調が見られるが、「賃金」「福利厚生」は、ここ数年、ともに減少傾向がみられる。

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
雰囲気	62.8%	71.0%	65.1%	74.4%
賃金	41.6%	40.7%	33.7%	26.5%
福利厚生	12.9%	17.6%	15.4%	10.5%

Q11 あなたは職場で希望する仕事につけなかったらどうするか

トップは「積極的に挑戦」60.7%で前年比3.6ポイント増
～「とりあえず我慢」27.9%は前年比4.5ポイント減～
大きな傾向の変化は見られない。

Q12 入社する会社に定年まで勤務するか

トップの「わからない」41.6%が前年比8.4ポイント減
～「定年まで」26.0%は前年比4.2ポイント増～
大きな傾向の変化は見られない。

Q13 最初に貰う給与のなかで自由になるお金は何に使うか

「貯蓄」が77.2%でトップ、次いで「親へのプレゼント」は68.0%

全体結果から見たポイント

ポイント 就職先決定の要因として「安定性」「将来性」がポイント減 Q2に関連

上位の「勤務地」「職種」「業種」が前年比でそれぞれ1.8～3.7ポイント増加したが、それに次ぐ「会社の安定性」30.1%は前年比9.3ポイントの減少、そして「会社の将来性」21.9%が6.6ポイントの減少となった。

地元企業における雇用環境は依然と厳しい状況にあり、「安定性」「将来性」を重視しつつも、「先ずは就職を」という新卒者の現実的な考えから、「勤務地」などの項目が優先される傾向が更に強まったと推測される。

ポイント 入社先への不安として、「仕事適応」「人間関係」がポイント増 Q3に関連

前年と全体的な傾向に変化は見られないものの、上位の「仕事適応」「人間関係」が、ともに7～10ポイント増加した。またQ5「会社に希望すること」のトップが「十分な指導・教育」となり、これは年々、増加の傾向を示している。

学生生活から社会人としての生活の変化に対して、新卒者の不安が如実に表れており、受け入れ側企業の対応が課題であると推測される。

ポイント 社会人としての期待は「知識・教養が得られる」がポイント増 Q9に関連

トップは「収入」次いで「人間関係」「知識・教養」と前年と順位の変化がないものの3位の「知識・教養」は12.4ポイント増となった。

これはQ4で「自分に不足するものは」の上位に「知識・教養」との回答が多く寄せられていることから、社会人になることにより、自分自身に不足する「知識・教養」の習得を期待する結果となった。

ポイント 初給与の支出のトップは「貯蓄」、そして「親へのプレゼント」が2位 Q13に関連

トップの「貯蓄」は学歴別にみると平均77.2%（男性71.4%、女性81.3%）となり、大学卒82.7%（男性81.3%、女性84.1%）、高校卒75.0%（男性40.0%、女性83.3%）であった。

また2位となった「親へのプレゼント」は、平均68.0%（男性72.5%、女性64.8%）となり、学歴別では、大学卒78.0%（男性82.8%、女性73.0%）、高校卒48.1%（男性40.0%、女性50.0%）となった。大学卒が高い数字を示したのは、親に対し就職までに大きな教育費の負担をかけたという感謝の表れとも推測される。